

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

*印の教員は、2025年3月31日付けで定年退職予定または、2024年度研究指導は行わない者。

**印の教員は、主任指導教員として志望できない者。

2024年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

(所屬専攻)		☎ 03-5978- (下記☎参照)
担当教員	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野
(職名): (氏名)	(博士前期課程における主な授業科目)	(研究テーマ、研究分野)
☎ 03-5978- (連絡先番号)		(連絡先メールアドレス)

2023年10月1日現在

ジェンダー社会科学専攻 Gender and Social Sciences

☎ 03-5978- (下記☎参照)

担当教員	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野
教授 : 大森 正博 Professor : OMORI Masahiro ☎ (5987)	消費問題論	【公共経済学・医療経済学】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp
教授 : 小谷 眞男 Professor : KOTANI Masao ☎ (5787)	生活法社会論、トランスサイエンス論	【比較法史】<生活>の比較法社会史・比較法文化史。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp
教授 : 小林 誠 Professor : KOBAYASHI Makoto ☎ (5254)	グローバル政治経済論	【国際政治学、国際関係学】グローバリゼーションによる国際システムの変容を理論的・実証的に研究。特に、非国家アクターが台頭し、地球市民社会が形成され始めて、中央・周辺関係が変化する一方で、新たな暴力の形態が生まれていることに注目。 e-mail: kobayashi.makoto@ocha.ac.jp
教授 : 斎藤 悦子 Professor : SAITO Etsuko ☎ (5986)	生活経済論	【生活経済学、生活経営学】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」にいかに関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp
教授 : 申 琪榮 Professor : Shin Ki-young ☎ (5843)	フェミニズム理論の争点、ジェンダー-立法過程論	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど、ジェンダー・フェミニズムの視点から比較政治学の問いに取り組む。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp
教授 : 棚橋 訓 Professor : TANAHASHI Satoshi * ☎ (5251)	ジェンダー文化論	【文化人類学、ジェンダー文化論】文化人類学の視点から、近現代の異文化混濁の過程に生じるジェンダー秩序の再編に関する研究、社会変動とセクシュアリティ変容に関する研究、「第三のジェンダー」に関する研究を行っている。主なフィールドはオセアニアと日本。 e-mail: tanahashi.satoshi@ocha.ac.jp
教授 : 永瀬 伸子 Professor : NAGASE Nobuko * ☎ (5786)	労働と社会政策	【労働経済学】就業行動、家庭内生産活動など、仕事をめぐる選択行動を経済理論を用いて分析の枠組みをつくり、先験的な予想を立て、統計等を用い実証的に分析することを専門とする。主な領域は「仕事」の選択行動であるが、出産、教育、結婚等の選択もこの枠組みで扱うこともできる。質的研究も行う。 e-mail: nagase.nobuko@ocha.ac.jp
教授 : 宮澤 仁 Professor : MIYAZAWA Hitoshi ☎ (5195)	地理情報論	【都市地理学、福祉地理学、地理情報システム (GIS)】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp
教授 : 西村 純子 Professor : NISHIMURA Junko ☎ (5788)	家族関係論	【家族社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家庭生活、子育てに関わる現象についての社会学的研究をおこなっている。 e-mail: nishimura.junko@ocha.ac.jp
准教授 : 荒木 美奈子 Associate Professor : ARAKI Minako ☎ (5190)	開発研究実践論	【開発研究、アフリカ地域研究】研究関心は、地域研究に基づく開発実践・研究、内発的發展、参加型開発、グローバリゼーションによる地域社会の変容などである。タンザニアを主なフィールドとしている。 e-mail: araki.minako@ocha.ac.jp
准教授 : 大橋 史恵 Associate Professor : OHASHI Fumie ☎ (5341)	ジェンダー社会経済学	移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないつつ研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生起するトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp
准教授 : 倉光 ミナ子 Associate Professor : KURAMITSU Minako ☎ (2612)	社会地理学特論	【文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、オセアニア地域研究、特にグローバル化によるジェンダーと慣習への影響、移民女性の子育てなど。主なフィールドはサモアとニュージーランド。 e-mail: kuramitsu.minako@ocha.ac.jp
准教授 : デ アウカンタラ マルセロ Associate Professor : DE ALCANTARA Marcelo ☎ (2084)	法女性論	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp
准教授 : 長谷川 直子 Associate Professor : HASEGAWA Naoko ☎ (5196)	自然環境論	【自然地理学・陸水学】気候変動（とくに温暖化）が湖に与える影響の解明。湖へ流入する水の挙動を観測により解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp
准教授 : 豊福 実紀 Associate Professor : TOYOFUKU Miki ☎ (5791)	生活政治論	【日本政治・比較政治・公共政策】政治学の観点から公共政策の研究を行っており、とくに女性の働き方にかかわる租税政策に注目している。 e-mail: toyofuku.miki@ocha.ac.jp
助教 : 脇田 彩 Assistant Professor : WAKITA Aya ** ☎ (5794)	生活福祉論	【社会調査法、社会階層論】 e-mail: wakita.aya@ocha.ac.jp
助教 : マйлズ キャロル Assistant Professor : MYLES Carroll ** ☎ (5191)	現代政治経済論	【先進国における政治経済秩序と統括関係】 e-mail: myles.carroll@ocha.ac.jp